

入 札 説 明 書

令和 6 年札幌市告示第 2660 号に基づく入札等については、札幌市契約規則、札幌市物品・役務契約等事務取扱要領その他関係法令に定めるもののほか、この入札説明書によるものとする。

1 告示日

令和 6 年 6 月 20 日

2 契約担当部局

〒060-0042 札幌市中央区大通西19丁目 WEST19 3階
札幌市保健福祉局保健所医務薬事課薬事係 電話 011-622-5162

3 入札に付する事項

- (1) 借受件名及び数量
保健所医務薬事課薬事監視車借受（ステーションワゴン 1 台）
- (2) 借受件名の特質等
仕様書による。
- (3) 納入期限及び借受期間
ア 納入期限 令和 6 年 10 月 1 日
イ 借受期間 令和 6 年 10 月 1 日から令和 11 年 9 月 30 日まで
- (4) 納入場所
仕様書による。
- (5) 入札方法
月額（一月当たりの賃貸借料金）で行う。

なお、落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の 10% に相当する額を加算した金額（当該金額に 1 円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。）をもって落札金額とするので、入札者は消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の 110 分の 100 に相当する金額を入札書に記載すること。

4 入札参加資格

- (1) 地方自治法施行令第 167 条の 4 の規定に該当しない者であること。
- (2) 令和 4 年度～令和 7 年度札幌市競争入札参加資格者名簿（物品・役務）において、業種分類「大分類：一般サービス業」、「中分類：物品賃貸業」に登録されている者であること。
- (3) 会社更生法による更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法による再生手続開始の申立てがなされている者（手続開始の決定後の者は除く。）等経営状態が著しく不健全な者でないこと。
- (4) 札幌市競争入札参加停止等措置要領の規定に基づく参加停止の措置を受けている期間中でないこと。
- (5) 事業協同組合等の組合がこの入札に参加する場合は、当該組合等の構成員が、構成員単独での入札参加を希望していないこと。

5 入札書の提出方法等

- (1) 入札書の提出場所、契約条項を示す場所及び問合せ先
上記 2 に同じ。
- (2) 入札書の受領期限
令和 6 年 7 月 5 日（金）13 時 30 分（送付による場合は必着）
- (3) 開札の日時及び場所
ア 日時：令和 6 年 7 月 5 日（金）14 時 00 分
イ 場所：札幌市保健福祉局保健所（WEST19）2 階 小会議室

(4) 入札書の提出方法

入札書（別紙１）を作成し、持参又は送付により提出すること。なお、提出にあたっては以下に留意すること。

ア 入札書を直接持参する場合は封筒に入れ封印し、かつ、その封皮に氏名（法人の場合は名称又は商号）及び「令和６年７月２日（火）１４時００日開札「保健所医務薬事課薬事監視車借受」の入札書在中」の旨を記載し、上記２あてに入札書の受領期限までに提出しなければならない。

イ 入札書を送付により提出する場合は二重封筒とし、外封に「保健所医務薬事課薬事監視車借受」の入札書在中」の記載し、上記２あてに入札書の受領期限までに送付しなければならない。

なお、電報、ファクシミリ、電話その他による入札は認めない。

ウ 入札者は、その提出した入札書の書換え、引換え又は撤回をすることができない。

(5) 借受件名の仕様等に対する質問及び回答

ア 提出方法

質問票を別紙２の様式により作成し、書面による持参、送付のほか、その電子データを電子メールに添付して提出できることとする。（電子メールにより提出する場合は、電子メールの件名を「【業者名】保健所医務薬事課薬事監視車借受の質問票の送付について」とすること。）

イ 提出先

(ア) 持参又は送付

上記２契約担当部局

(イ) 電子メール

保健福祉局保健所医務薬事課電子メールアドレス imuyakuji@city.sapporo.jp

ウ 提出期限

(ア) 持参又は送付

上記１の告示の日から令和６年６月２８日（金）までの８時４５分から１７時１５分の間で提出すること。

(イ) 電子メール

上記１の告示の日から令和６年６月２８日（金）１７時１５分までに提出すること。

エ 回答書の閲覧

令和６年７月１日（月）以降、上記２の契約担当部局にて閲覧に供するとともに、局ホームページに掲載する。なお、本件入札に直接関係する質問に対してのみ回答を行うものとし、全ての質問に回答するとは限らない。

オ その他

質問がなかった契約書案、仕様書及び入札に関する事項についての解釈は本市の解釈によるものとする。

(6) 入札の無効

ア 本入札説明書に示した競争参加資格のない者のした入札、入札に関する条件に違反した者のした入札、その他札幌市契約規則第１１条各号及び札幌市競争入札参加者心得第８項各号の一に該当する入札は無効とする。

イ 札幌市物品・役務契約等事務取扱要領第１３条に定める入札参加資格の審査書類の提出の指示があったにもかかわらず、指定された期日までに当該書類の提出がなされなかったときは、当該入札は無効とする。

(7) 入札の延期等

次のいずれかに該当したときは、当該入札を延期し、中止し、又はこれを取り消すことがある。

ア 入札者が相連合し、又は不穩の挙動をする等の場合であって、競争入札を公正に執行することができない状態にあると認められるとき。

イ 天災その他やむを得ない事情が発生した場合であって、競争入札を公正に執行することができない状態にあると認められるとき。

ウ 調達を取りやめ、又は調達内容の仕様等に不備があったとき。

(8) 代理人による入札

ア 代理人が入札する場合には、入札書に競争入札参加資格者の氏名又は名称及び住所並びに代理人であることの表示、及び当該代理人の氏名を記入して押印（外国人の署名を含む。）をしたうえで、入札書とともに代理委任状（別紙3）を提出しなければならない。

イ 入札者又はその代理人は、本調達に係る入札について他の入札者の代理人を兼ねることができない。

(9) 開札

ア 開札は、上記5(3)の日時及び場所において、入札者又はその代理人を立ち合わせて行う。ただし、入札者又はその代理人が立ち会わない場合は、入札事務に関係のない職員を立ち合わせて行う。

イ 入札者又はその代理人は、入札時刻後においては、入札場に入場することはできない。

ウ 入札者又はその代理人は、入札場に入場しようとするときは、入札関係職員の求めに応じ競争参加資格を証明する書類、身分証明書又は入札権限に関する委任状（別紙3）を提示しなければならない。

エ 入札者又はその代理人は、入札執行職員又はその補助者が特にやむを得ない事情があると認めた場合のほか、入札場を退場することができない。

オ 開札をした場合において、入札者又はその代理人の入札のうち、予定価格の制限に達した価格の入札がないときは、再度の入札を行う。なお、再度入札の回数は、原則として2回を限度とする。

6 その他

(1) 入札保証金 免除

(2) 契約保証金 要

契約を締結しようとする者は、契約金額（月額）を1年間当たりの額に換算した額（月額×12）の100分の10に相当する額以上の契約保証金又はこれに代える担保を、落札決定後、契約保証金の納付に係る通知（納入通知書到達）の日の翌日から起算して5日後（5日後が土曜日、日曜日及び休日の場合は翌開庁日）までに、納付又は提供しなければならない。

なお、指定期日までに納付又は提供がなかった場合には、落札決定を取り消すとともに、札幌市競争入札参加停止等措置要領の定めに基づき参加停止の措置を行う。

ただし、札幌市契約規則第25条各号の一に該当するときは、契約保証金を免除することがある。

(3) 落札者の決定方法

ア 落札者の決定

札幌市契約規則第7条の規定に基づき作成された予定価格の制限の範囲内で、最低価格をもって入札（有効な入札に限る。）した者を落札候補者として、落札保留のうえ下記ウの審査を行い、その結果、入札参加資格を有する者と確認できた場合に、当該落札候補者を落札者とする。

イ 同額抽選

落札者となるべき同価の入札をした者が2人以上あるときは、直ちに、当該入札者にくじを引かせて落札者を決定するものとする。

この場合において、当該入札者又はその代理人がくじを直接引くことができないときは、これに代えて、当該入札事務に関係のない職員がくじを引くものとする。

ウ 入札参加資格の審査

落札の決定を保留した後、落札候補者が、入札参加資格を有する者であるかを審査するので、落札候補者は、入札執行者の指示があった日（原則としては開札日）の翌日から起算して3日以内（土曜日、日曜日及び休日を除く。）に、事後審査型一般競争入札参加資格確認申請書（別紙4）を提出しなければならない。

なお、指定期限までに提出がない場合は、当該落札候補者のした入札を、入札参加資格のない者のした入札とみなし無効とする。

エ 入札参加資格を有しなかった者の取扱い

上記ウの審査の結果、落札候補者が、入札参加資格を有しないものであることを確認した場合は、その者の入札を無効とする。この場合において、予定価格の制限の範囲内で、かつ、最低制限価格以上の価格のうち、最低の価格をもって入札（有効な入札に限る。）した者を、新たな入札候補者として、上記ウの審査を行う。以後、落札者が決定するまで同様の手順を繰り返す。

オ 入札が無効となった者と取扱い

上記ウ又はエに基づき入札が無効となった者は、上記 5 (9) オに掲げる再度の入札に参加できないものとする。

(4) 入札者に要求される事項

ア この入札に参加を希望するものは、上記 4 に掲げる入札参加資格を有することを証明する書類（事後審査型一般競争入札参加資格確認申請書：別紙 4）を、入札関係職員の求めに応じ提出しなければならない。また、当該書類に関し説明を求められた場合は、それに応じなければならない。

イ 入札参加者は、本入札説明書、仕様書、契約書案等について、疑義がある場合は、関係職員に説明を求めることができるが、入札後はこれらの不明を理由として異議を申し出ることはいできない。

(5) 落札の取消し

落札者が次のいずれかに該当するときは、当該落札を取り消すものとする。

ア 契約の締結を辞退したとき、又は市長の指定した期日内に契約を締結しないとき。

イ 契約保証金の納付義務のある者が、指定する期日までに、契約保証金の納付がなかったとき。

ウ 入札に際し不正な行為をしたと認められるとき。

エ その他入札に際し入札参加の条件に欠けていたとき。

(6) 免税事業者であることの申出

落札者が、消費税法（昭和 63 年法律（第 108 号））に基づく消費税及び地方税法（昭和 25 年法律第 226 号）に基づく地方消費税に関し、免税事業者である場合には、落札決定後、直ちに消費税及び地方消費税免税事業者申出書（別紙 5）を提出しなければならない。

(7) 契約書の作成

ア 一般競争入札を執行し、契約の相手方を決定したときは、遅滞なく契約書を取り交わすものとする。ただし、契約保証金の納付義務がある場合は、その納付が確認された後とする。

イ 契約書を作成する場合において、契約の相手方が遠隔地にあるときは、まず、その者が契約書の案に記名押印し、更に市長が当該契約書の案の交付を受けてこれに記名押印するものとする。

ウ 上記イの場合において市長が記名押印したときは、当該契約書の 1 通を契約の相手方に送付するものとする。

エ 市長が契約の相手方とともに契約書に記名押印しなければ、本契約は確定しないものとする。

(8) 契約条項

契約書案のとおり

(9) 入札参加資格が認められなかった者に対する理由の説明

入札参加資格が認められなかった者は、本市に対して入札参加資格が認められなかった理由について、原因となった事実を知り、又は合理的に知り得たときから 10 日以内（札幌市の休日を定める条例に定める休日を除く。）に従い、書面（様式は自由）により説明を求めることができる。

ア 提出場所

上記 2 に同じ。

イ その他

持参することにより提出するものとし、送付又は電送によるものは受け付けない。

【様式一覧】

	様 式 名
別紙 1	入札書
別紙 2	質問票
別紙 3	委任状
別紙 4	事後審査型一般競争入札参加資格確認申請書
別紙 5	消費税及び地方消費税免税事業者申出書